

能登の復興を担う次世代育成：防災・復興教育の一年間の成果

ひとつづくり部門 特任教授 信岡 尚道

「ひとつづくり部門の志」

- 自らの的確な判断の下で防災・減災に対応できる人材を輩出
- 本学は「防災・復興人材特別プログラム」を開設
- 能登里山里海未来創造センターと各学類等が連携して、地域の復旧・復興と社会の防災・減災に貢献できる高度人材を育成



海岸隆起を学ぶ

救急救命を学ぶ



令和7年度の成果（青文字は新規）

- 高校生・入試等
KUGS高大接続プログラム（LIVEセミナー）
能登半島災害・復興Study Tour（8,10月）
KUGS特別入試
防災・復興人材選抜（**4学域5学類**）
- 大学教育

共有科目の必須科目である**防災・復興学入門A**および**B**を開講（**高大接続LIVEセミナー、防災士養成講座***を兼ねる）ほか、**学士課程と修士博士課程をあわせ、10のプログラムを開設**

***防災士99名が誕生予定（2025年12月現在）**

なお、本学が中心となる大学コンソーシアム石川の講義でも防災士を養成しています

令和8年度以降も、 国土半島計画学の構築を目指しながら 防災・復興人材育成を加速していく

「半島、地方、都市」それぞれの
特徴を捉えた防災・復興のあり方を整理する
課題を認識の上、防災・復興の進め方を整理する

「半島の国土構造」

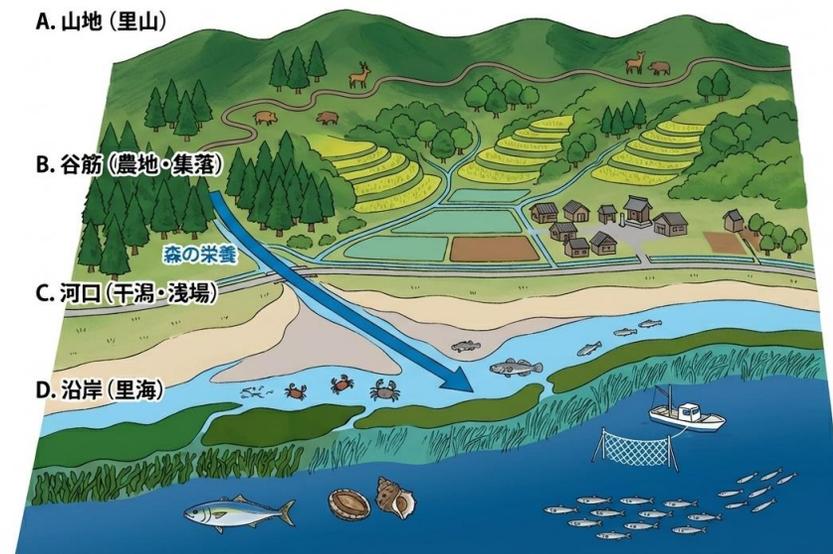
- ・ 水域に3方で囲まれる。比較的、平野が少ない。
- ・ 漁業・水産業が強い。
- ・ 通過交通・通過人口が少ない。一方向は陸路で繋がる。
(昔は海運・海上交通との接点であった)



これらをもとにした、自然との共生、独特の風土・文化

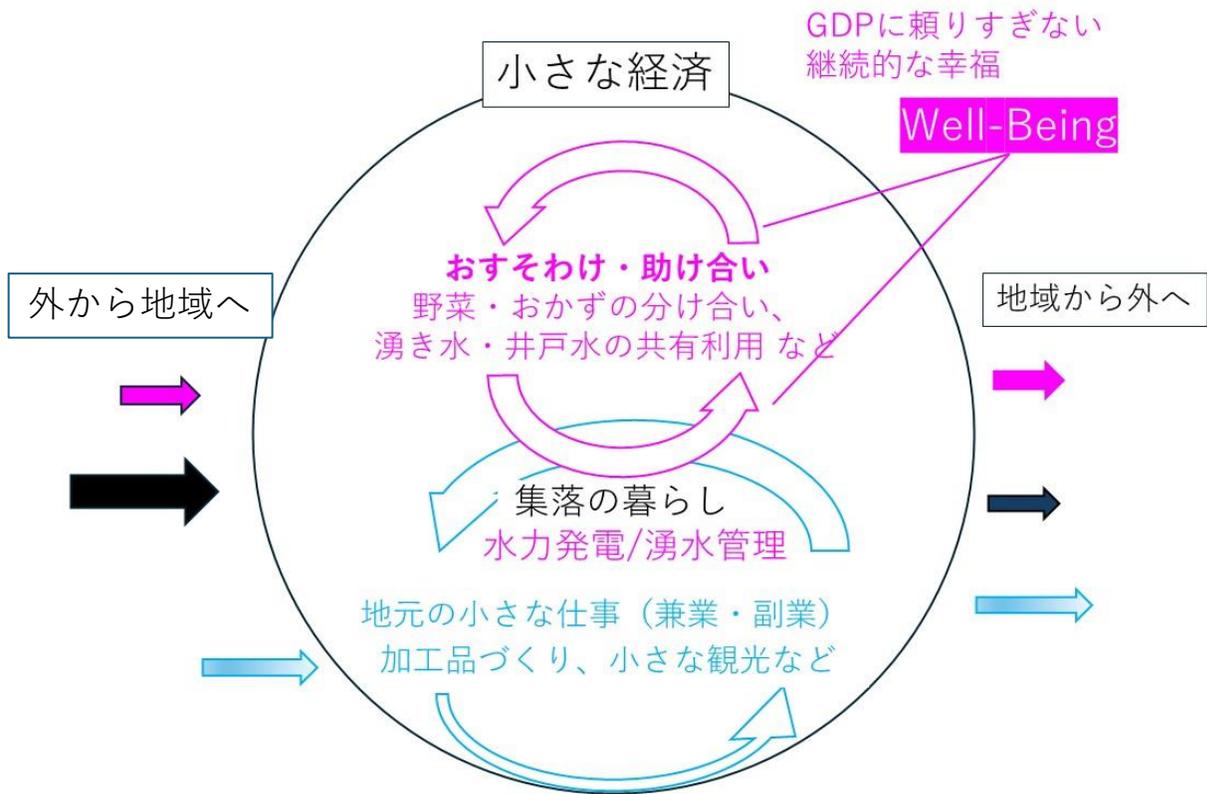
「地方の課題」 過疎・高齢化（人口減少）・生業衰退
→ 未来を知り、未来を紡ぐ

能登半島の俯瞰図：里山・里海システム



令和8年度の展開（予定）

国内半島の風土・文化や生業・経済の事例収集、
講義への活用⇒



奥能登の経済・文化の概念図

能登半島地震復興支援セミナー（大学コンソーシアム石川）
12/15講演より

令和8年度展開予定（赤文字が展開部分）

- 高校生・入試等
KUGS高大接続プログラム（LIVEセミナー）
能登半島の災害・復興Study Tour(8月)
能登半島の防災・復興(仮称)
KUGS特別入試
防災・復興人材選抜(4学域5学類)
- 大学教育
共有科目の必須科目である防災・復興学入門AおよびBを
開講(高大接続LIVEセミナー、防災士養成講座*を兼ね
る)ほか、学士課程と修士博士課程をあわせ、10のプログ
ラムを開設
- リスキリングプログラム開講
3科目新設
・防災・復興データサイエンス入門
・防災地域づくり論
・復興地域づくり論
} オンデマンド
学部，高校生も
+ 既存4科目で構成